事例No.	307
公表年度	H28
団体の属性	中核市
団体名	島根県松江市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・事務の共同実施

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

「流域関連公共下水道への編入」（汚水処理施設の統廃合）

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	流域関連公共下水道への編入
団体名	島根県松江市

《広域化等(共同化・最適化を含む)の類型及びその概要》

類型	汚水処理施設の統廃合
概要	ライフサイクルの最小化を目的として、①忌部地区農業集落排水施設及び、②今宮・春日地区農業集落排水施設を公共下水道に段階的に接続。

○団体・事業の概要

行政区域内人口(人)	204,247	行政区域内面積(㎢)	572.99
事業区分・法適用区分	公共下水道・法適用	供用開始年月日	①H25、②H27
処理区域内人口(人)	164,164	処理区域内面積(ha)	4,718.3
施設利用率(%)	93.4	職員数(人)	23
営業費用(千円)	4,712,231	営業収益(千円)	3,296,684

※表中の計数はH28年3月末時点

1. 取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

・忌部地区農業集落排水、今宮・春日地区農業集落排水は供用開始から約20年を迎え老朽化に伴う改築更新時期に来ていた。一方、公共下水道(流域関連公共下水道)には余裕があり、また、公共下水道区域が郊外へ拡大したことにより農集施設との距離が近接して来た。以上のことから更新計画を検討した結果、統合してライフサイクルの最小化を図った。

(2)検討を開始した契機・導入過程

年 度	忌部農集	今宮春日農集
H20	統合業務委託	
H22	財産処分の承認(島根県)	
H23	調査設計業務委託	財産処分の承認(島根県)
H24	流量計算書作成業務委託	調査設計業務委託
H25	接続管工事	
H26		接続管工事
H27		マンホールポンプ設置工事

2. 取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい

①忌部地区農業集落排水、②今宮・春日地区農業集落排水について、終末処理場を廃止し、流域関連公共下水道へ接続するための中継ポンプ場に改造した。

(取組前)

・農業集落排水(①忌部処理区)
管路延長31.1km
処理施設1か所
ポンプ場15か所
・農業集落排水(②今宮春日処理区)
管路延長5.3km
処理施設1か所
ポンプ場1か所

(取組後)

・農業集落排水(①忌部処理区)
接続管2.4km
管路延長31.1km
ポンプ場17か所
・農業集落排水(②今宮春日処理区)
接続管1.3km
管路延長5.3km
ポンプ場2か所

(2)効果

①忌部農集

ⅰ　施設関連

・処理施設増減数　1施設減

・ポンプ場増減数　2施設増

・処理区間接続管渠延長　2.4km増

ⅱ　効果額

・処理区間の接続に係る費用

建設費(管渠・ポンプ設置、既設処理場改造)

152百万円

・処理施設減による削減効果額

既設処理場改築更新10,712千円/年

⇒　統合建設費3,162千円/年

【削減効果7,550千円/年】

維持管理費　【削減効果6,217千円/年】

【削減効果小計13,767千円/年】

②今宮春日農集

ⅰ　施設関連

・処理施設増減数　1施設減

・ポンプ場増減数　1施設増

・処理区間接続管渠延長　1.3km増

ⅱ　効果額

・処理区間の接続に係る費用

建設費(管渠・ポンプ設置、既設処理場改造)

64百万円

・処理施設減による削減効果額

既設処理場改築更新10,374千円/年

⇒　統合建設費1,151千円/年

【削減効果9,223千円/年】

維持管理費　【削減効果4,096千円/年】

【削減効果小計13,319千円/年】

年間27,086千円の削減効果を実現

3．他の自治体の参考となる点、今後の課題等

○今後の課題等

統廃合にあたっては、計画段階からの住民周知とともに、関係する維持管理業者への説明が必要である。

○問合せ先

担当課	松江市上下水道局工務部建設課計画推進室		
TEL	0852－55－4887	MAIL	yoshioka-yuuji@water.matsue.shimane.jp